

# 高山支部 JA須高 りんご部会 に代表に

## ブランド化で高利益

JA長野中央会とNHK長野放送局は7日、第39回日本農業賞長野県代表表彰式を長野市のJA長野県ビルで行い、全国審査へ推薦した「JA須高りんご部会高山支部（集団組織の部）」と小県郡長和町の「鷹山ファミリー牧場」（個人経営の部）を表彰した。

238戸が加入するJA須高りんご部会高山支部は、全国にさがかけて農業削減に取り組むなど環境にやさしい果樹生産で知られる。さらに支部を挙げて高品質りんご「信州高山さわや



表彰を受けるJA須高りんご部会高山支部の内山信行支部長（中央）

かりんご」の生産を支えるとともにブランド化にも成功。その成果を部会員のメンバーに結び付けるシステムが組織経営の可能性をも広げている、と高く評価された。

鷹山ファミリー牧場は酪農と野菜づくりに循環型農

業を取り入れ、標高1300mという立地条件を生かした高原野菜の生産を行っている。また、観光牧場・

体験学習を通じ農作業や鷹山地区の自然そのものまで付加価値につなげている点などが受賞につながった。

日本農業賞・集団組織の部

# 日本農業賞 県代表決まる

## J A須高りんご部 高山支部 (組織) 鷹山ファミリー牧場 (個別)

J A長野中央会とNHK長野放送局が主催する第39回日本農業賞長野県代表の表彰式が7日、長野市のJ A県ビルで行われ、集団組織の部で県代

表に選ばれたJ A須高の「J A須高りんご部会高山支部」が、個別経営の部で長和町の鷹山(たかやま)ファミリー牧場が県知事賞、県農協中央会会長賞、日本放送協会長野放送局長賞を受けた。県代表として、全国審査に推薦する。

同部会高山支部は240人、2005年に全員がエコファーマーを一斉取得。「村の条件を生かすりんご生産」を目指し手間を惜しまず、本物のりんごを作りたいをモットーに①早出しはしない②味を十分にのせる③色は満遍なく付ける④作業を適期に惜しまずやる――を基本に実施してきた。フェロモン剤を使用した減農薬栽培に取り組み、「信州高山さわやかりんご」「プレミアムコート」ブランドとして出荷。環境に優しい農業をPR、差別化を図り付加価値を付けている。

活用する経営を目指した農業経営を行い、野菜の生産、酪農農産物の加工生産し、農業体験も受け入れる新しい農業経営を確立。生産だけでなく敷地内で食堂、直売所を設置し地産地消を実践。従業員、アルバイトを雇い、新規就農者や人材育成にも力を入れていることが評価された。

受賞した鷹山ファミリー



表彰を受けるJ A須高りんご部会高山支部正副部会長

鷹山ファミリー牧場は農業・農村の持っているすべての資源を最大限に

「牧場の小林一夫代表は「40年間農業をやっている、こうして評価され、こんなうれしいことはない。これからの励みになる」と話し、高山支部の内山信行支部長は「これからも地区全体で意思統一を図り、付加価値を付けブランドとして販売していきたい」とそれぞれ喜びを語った。